



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

東

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所
コード番号 6428 URL <https://www.oizumi.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)北村 稔 (TEL)046(297)2111
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,681	59.4	906	83.4	893	80.3	554	150.6
2023年3月期第2四半期	7,327	26.8	494	△19.1	495	△25.7	221	△47.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 549百万円(140.9%) 2023年3月期第2四半期 227百万円(△47.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	24.66	—
2023年3月期第2四半期	9.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	41,359	18,538	44.8
2023年3月期	43,753	18,259	41.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 18,538百万円 2023年3月期 18,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	12.0	12.0
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	12.0	12.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	20.3	1,100	3.7	1,050	△0.4	620	△60.3	27.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	22,500,000株	2023年3月期	22,500,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	4,722株	2023年3月期	4,722株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	22,495,278株	2023年3月期2Q	22,495,323株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより、社会経済活動が正常化へ進み緩やかな回復の動きが見受けられました。一方で、世界的なエネルギー価格、原材料価格の高騰や円安により物価が上昇傾向にあり、実質賃金の減少を背景に個人消費の減少が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野である遊技場は、レジャーの多様化に伴う遊技人口の減少に加え、集客並びに稼働の低迷により、閉店、廃業の増加、M&Aによる企業再編等が行われるなど経営環境は厳しい状況が続きました。一方で、2022年11月よりスマートパチスロ、本年度4月にはスマートパチンコの市場導入開始に伴い、低迷していた集客数は増加し稼働も回復傾向に転じ、遊技場の設備更新需要の拡大が継続的に見込まれます。

このような状況のなか、当社グループでは市場動向を的確に捉え、マーケットニーズに対応すべく製品の企画、開発を進め、競争力のある製品の市場投入に努めてまいりました。

特に、当社の中核事業である遊技機部門においては、規則改正等に柔軟に対応できる体制強化を図り、良質なIPの取得と独創的なゲーム性の製品開発を進め、前連結会計年度に子会社化した株式会社高尾との連携によるシナジー創出を図るとともにシェア拡大に取り組んでまいりました。

また、人々の健康意識の高まる状況の中、食品・EC事業を今後の新たな中核事業として位置づけ、スピーディーな新商品の開発に取り組み、収益確保に向け付加価値商品の開発、並びにECサイトでの販売ノウハウを活用した事業拡大及び当社グループでのシナジー効果追求に注力いたしました。

加えて、「ペットの高齢化、健康習慣、機能性」をキーワードに、グレインフリー(穀物を含まない)、グルテンフリー(アレルギー対応)製品をブランド名Delichien(デリシャン)として市場投入し、ソーシャルメディアの活用による認識度向上、様々な展示会等への出展によるブランドイメージの浸透を図り、販路拡大に繋げてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高11,681百万円(前年同期比59.4%増)、経常利益893百万円(前年同期比80.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益554百万円(前年同期比150.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、変更の詳細は、「2 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) 当第2四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(アミューズメント事業)

アミューズメント事業は周辺機器部門において、自動サービス機器の受注並びに出荷が想定以上に推移いたしました。

遊技機部門においては、前連結会計年度に市場投入した「パチスロOVERLORD絶対支配者光臨II」の増販、また、連結子会社の株式会社高尾が「P銭形平次3 お静99」、「P貞子3D3」、「P七つのお徳」を市場投入しました。

なお、当連結会計年度における大型タイトルのリリースは第4四半期会計期間を予定しております。

この結果、アミューズメント事業は、当第2四半期は売上高6,852百万円(前年同期比67.0%増)、セグメント利益547百万円(前年同期比79.0%増)となりました。

なお、前年同期比については、前連結会計年度第4四半期会計期間に株式を取得し連結の範囲に含めた株式会社高尾の数値を含めております。

(不動産事業)

不動産事業は、より一層の安定的な収益確保に向け、収益性の高い、良質な賃貸物件を継続的に模索しつつ、不動産の保守、管理の徹底に努めてまいりました。

この結果、不動産事業は、当第2四半期は売上高446百万円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益235百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

(電気事業)

電気事業は、継続的安定供給に向け、太陽光発電設備の徹底した保守、管理を実施し、順調に稼働させており、安定した収益を確保いたしました。

この結果、電気事業は、当第2四半期は売上高560百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益332百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

（食品・EC事業）

食品・EC事業において、連結子会社である武内製菓株式会社ではデータを活用したマーケットインの商品開発・製造に継続注力し、新商品を市場に多数投入いたしました。市場成長の続くプロテインを中心とした健康食品や化粧品等のオンライン販売に注力するとともに、更なる売上・認知の拡大に向けてオフライン販売も強化しております。また、商品開発・製造の強みを活用したOEM事業も好調に推移しております。

バブルスター株式会社では、市場成長が続いている糖質制限市場に対して食物繊維やノーカロリーの甘味料等を市場投入し、株式会社下仁田物産では蒟蒻類、蒟蒻ゼリーの製造、販売において自社ブランドである「蒟蒻工房」、また、ペットフードビジネスにおいて自社ブランドDelichien（デリシエン）を展開し、オンライン・オフラインの横断的なマーケティング活動を実施することで、販路・認知拡大に注力してまいりました。

この結果、食品・EC事業は、当第2四半期は売上高3,821百万円（前年同期比70.9%増）、セグメント利益50百万円（前年同期比182.1%増）となりました。

なお、前年同期比については、前連結会計年度第2四半期会計期間に株式を取得し連結の範囲に含めた武内製菓株式会社の1ヶ月分の数値を含めております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（2023年3月31日）に比べ2,394百万円減少し、41,359百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ984百万円減少し、18,946百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少（1,038百万円減）、売掛金の減少（1,794百万円減）、仕掛品の減少（216百万円減）、その他に含まれる仮払金及び立替金の減少（104百万円減）の一方で、電子記録債権の増加（914百万円増）、商品及び製品の増加（163百万円増）、原材料の増加（290百万円増）、その他に含まれる前払費用の増加（293百万円増）及び前渡金の増加（619百万円増）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,409百万円減少し、22,412百万円となりました。これは主に所有不動産の売却に伴う建物及び構築物の減少（548百万円減）及び土地の減少（226百万円減）、機械装置及び運搬具の減少（157百万円減）、のれんの減少（120百万円減）、その他に含まれる滞留債権の減少（130百万円減）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,673百万円減少し、22,820百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少（1,972百万円減）、短期借入金の減少（207百万円減）、流動負債その他に含まれる未払金の減少（387百万円減）及び仮受金の減少（661百万円減）、固定負債その他に含まれる長期未払金の減少（207百万円減）の一方で、1年内返済予定の長期借入金の増加（254百万円増）、電子記録債務の増加（611百万円増）によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ279百万円増加し、18,538百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（284百万円増）によるものです。

この結果、自己資本比率は44.8%と前連結会計年度末に比べ3.1ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,038百万円減少し6,827百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は522百万円(前年同期は得られた資金1,024百万円)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益820百万円の計上、減価償却484百万円の実施、のれん償却額120百万円、売上債権の減少996百万円がある一方で、棚卸資産の増加167百万円、仕入債務の減少1,345百万円、前渡金の増加619百万円、その他に含まれる未払金の減少387百万円、法人税等の支払額152百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は466百万円(前年同期は使用した資金2,419百万円)となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入645百万円がある一方で、有形固定資産の取得による支出176百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金981百万円(前年同期は得られた資金2,081百万円)となりました。これは主に短期借入金の純減額207百万円、長期借入金の返済による支出1,462百万円、民事再生債務の返済による支出673百万円、配当金の支払額269百万円がある一方で、長期借入れによる収入1,670百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月12日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,865,529	6,827,439
受取手形	184,663	198,425
売掛金	3,496,832	1,701,996
電子記録債権	1,693,477	2,608,069
商品及び製品	1,495,037	1,658,595
仕掛品	839,361	622,616
原材料	2,549,163	2,839,164
コンテンツ	6,197	0
その他	1,803,907	2,505,165
貸倒引当金	△2,800	△14,987
流動資産合計	19,931,371	18,946,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,635,671	5,087,563
機械装置及び運搬具(純額)	2,423,749	2,266,416
工具、器具及び備品(純額)	321,622	268,061
土地	10,561,982	10,335,129
リース資産(純額)	252,932	215,774
有形固定資産合計	19,195,959	18,172,945
無形固定資産		
ソフトウェア	110,653	60,306
のれん	2,401,704	2,281,150
その他	12,803	18,244
無形固定資産合計	2,525,161	2,359,701
投資その他の資産		
投資有価証券	596,007	590,160
長期貸付金	1,599,320	1,589,960
繰延税金資産	231,774	186,014
長期前払費用	313,199	319,643
その他	619,244	452,871
貸倒引当金	△1,258,320	△1,258,320
投資その他の資産合計	2,101,225	1,880,328
固定資産合計	23,822,346	22,412,975
資産合計	43,753,717	41,359,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,836,274	863,841
電子記録債務	940,394	1,552,358
短期借入金	1,907,242	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,726,081	2,980,572
リース債務	41,091	58,284
未払法人税等	217,864	231,000
賞与引当金	76,705	67,528
製品保証引当金	6,000	7,000
その他	2,278,251	1,204,308
流動負債合計	11,029,905	8,664,893
固定負債		
長期借入金	11,824,907	11,778,136
リース債務	237,491	181,067
役員退職慰労引当金	393,634	397,686
製品保証引当金	108,400	107,600
退職給付に係る負債	148,696	151,813
長期預り保証金	703,130	712,669
資産除去債務	336,294	337,585
繰延税金負債	—	6,205
再生債権等	336,637	315,303
その他	375,181	167,675
固定負債合計	14,464,373	14,155,743
負債合計	25,494,278	22,820,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	16,340,130	16,624,946
自己株式	△4,343	△4,343
株主資本合計	18,016,387	18,301,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243,051	237,621
その他の包括利益累計額合計	243,051	237,621
純資産合計	18,259,438	18,538,824
負債純資産合計	43,753,717	41,359,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	7,327,475	11,681,365
売上原価	4,953,730	7,585,017
売上総利益	2,373,744	4,096,347
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	194,737	302,928
荷造運賃	265,322	552,958
販売促進費	412,779	896,888
役員報酬	113,295	138,921
給料手当及び賞与	171,955	330,922
賞与引当金繰入額	38,221	42,540
退職給付費用	8,534	7,030
役員退職慰労引当金繰入額	8,465	4,051
製品保証引当金繰入額	4,000	7,000
貸倒引当金繰入額	△3,995	12,187
子会社株式取得関連費用	124,956	—
その他	541,278	894,762
販売費及び一般管理費合計	1,879,551	3,190,192
営業利益	494,193	906,154
営業外収益		
受取利息	4,009	4,170
受取配当金	3,547	6,659
雇用調整助成金	21,106	200
その他	21,387	48,602
営業外収益合計	50,051	59,633
営業外費用		
支払利息	41,762	53,278
貸倒引当金繰入額	14	—
その他	7,075	19,356
営業外費用合計	48,852	72,635
経常利益	495,391	893,153
特別利益		
固定資産売却益	2,636	64,874
債務免除益	—	790
特別利益合計	2,636	65,664
特別損失		
会員権解約損	—	18,498
固定資産除売却損	20,184	119,808
特別損失合計	20,184	138,307
税金等調整前四半期純利益	477,844	820,510
法人税、住民税及び事業税	252,818	210,819
法人税等調整額	3,619	54,932
法人税等合計	256,437	265,751
四半期純利益	221,406	554,759
親会社株主に帰属する四半期純利益	221,406	554,759

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	221,406	554,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,587	△5,429
その他の包括利益合計	6,587	△5,429
四半期包括利益	227,994	549,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227,994	549,329
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	477,844	820,510
減価償却費	405,659	484,086
のれん償却額	78,005	120,553
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,995	12,187
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,000	200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,183	△9,177
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,448	3,116
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△19,260	4,051
受取利息及び受取配当金	△7,556	△10,830
支払利息	41,762	53,278
無形固定資産除売却損	137	40,805
有形固定資産除売却損	20,046	79,003
有形固定資産売却益	△2,636	△64,874
売上債権の増減額 (△は増加)	△189,978	996,688
棚卸資産の増減額 (△は増加)	532,714	△167,559
仕入債務の増減額 (△は減少)	△267,591	△1,345,979
前渡金の増減額 (△は増加)	△152,998	△619,554
その他	70,283	△723,050
小計	993,065	△326,544
利息及び配当金の受取額	7,556	10,830
利息の支払額	△42,830	△53,983
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	67,119	△152,567
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,024,911	△522,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△466	△1,982
投資有価証券の売却による収入	—	100
有形固定資産の取得による支出	△88,566	△176,771
有形固定資産の売却による収入	2,636	645,845
無形固定資産の取得による支出	△30,000	△17,499
貸付けによる支出	△60,000	△900
貸付金の回収による収入	20,262	10,572
子会社株式の取得による支出	—	△666
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,248,752	—
その他	△14,128	7,422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,419,015	466,121
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	30,000	△207,242
長期借入れによる収入	3,600,000	1,670,000
長期借入金の返済による支出	△1,323,736	△1,462,280
リース債務の返済による支出	△29,049	△39,230
民事再生債務の返済による支出	—	△673,674
自己株式の取得による支出	△20	—
配当金の支払額	△195,517	△269,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,081,676	△981,944
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	687,573	△1,038,089
現金及び現金同等物の期首残高	7,904,414	7,865,529
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,591,987	6,827,439

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月29日 定時株主総会	普通株式	202,457	9	2022年3月31日	2022年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月29日 定時株主総会	普通株式	269,943	12	2023年3月31日	2023年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

一部の連結子会社における食品・EC事業に係る費用の一部を、従来、売上原価に含めておりましたが、第1四半期連結会計期間より販売費及び一般管理費として表示する方法に変更しております。

この変更は、当該連結子会社の組織改編を契機に損益管理の見直しを行い、当社グループの事業活動の実態をより適切に反映するために実施したものであります。

当該変更により前第2四半期連結累計期間の売上原価は185,665千円減少し、売上総利益、販売費及び一般管理費はそれぞれ同額増加しましたが、営業利益に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	アミューズメント 事業	不動産事業	電気事業	食品・EC事業
売上高				
(1)外部顧客に対する 売上高	4,103,309	448,675	539,912	2,235,576
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	17,808	—	9,076
計	4,103,309	466,484	539,912	2,244,653
セグメント利益	305,734	247,030	304,527	17,819

	計	調整額(注)1	四半期連結損益計 算書計上額(注)2
売上高			
(1)外部顧客に対する 売上高	7,327,475	—	7,327,475
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替高	26,885	△26,885	—
計	7,354,361	△26,885	7,327,475
セグメント利益	875,112	△380,918	494,193

- (注) 1 セグメント利益の調整額△380,918千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	アミューズメント 事業	不動産事業	電気事業	食品・EC事業
売上高				
(1)外部顧客に対する 売上高	6,852,615	446,410	560,877	3,821,462
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	14,580	—	5,672
計	6,852,615	460,990	560,877	3,827,134
セグメント利益	547,387	235,002	332,938	50,274

	計	調整額(注)1	四半期連結損益計 算書計上額(注)2
売上高			
(1)外部顧客に対する 売上高	11,681,365	—	11,681,365
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替高	20,252	△20,252	—
計	11,701,617	△20,252	11,681,365
セグメント利益	1,165,602	△259,447	906,154

- (注) 1 セグメント利益の調整額△259,447千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは連結子会社の増加に伴い経営管理区分の見直しを行い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「機器事業」「不動産事業」「電気事業」「コンテンツ事業」「食品事業」及び「その他」の6区分から、「コンテンツ事業」を「機器事業」に集約し「アミューズメント事業」に、「その他事業」を「食品事業」に集約し「食品・EC事業」とし、「アミューズメント事業」「不動産事業」「電気事業」及び「食品・EC事業」の4区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。